

2006年6月の東北地方の天候

【6月の特徴】

- ・中旬の寡照
- ・下旬の高温・少雨

(1) 2006年6月の概況

上旬後半から中旬前半はオホーツク海高気圧の影響で東北太平洋側を中心に曇りや雨の日が多く、各地で気温の低い日が多かった。特に中旬は日照時間が平年を大きく下回った。東北地方は9日ごろに南部で、15日ごろに北部で梅雨入りしたと見られる。月の後半は天気が周期的に変わり、下旬は晴れて気温の高い日が多く、降水量が少なかった。

月平均気温は東北北部で平年並、東北南部で高い。月降水量は東北北部で少なく、東北南部で平年並。月間日照時間は東北北部で少なく、東北南部で平年並。

(2) 各旬の天候経過

上旬：前半は移動性高気圧に覆われ晴れの日が多かったが、1～2日は上空の寒気の影響で東北北部は雨の所もあった。後半はオホーツク海高気圧や前線の影響で東北太平洋側を中心に曇りや雨の日が多くなった。6～7日は上空に寒気を伴った気圧の谷の影響で、東北南部の所々で強い雷雨となり、停電や土砂崩れなどの被害が出た。気温は寒気やオホーツク海高気圧の影響で東北北部を中心に低い日が多くなった。なお、東北南部では9日ごろ梅雨入りしたと見られる。(平年は6月10日ごろ)。

平均気温は東北北部で低く、東北南部で平年並。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で多い。日照時間は東北地方で平年並。

中旬：前線や寒気、オホーツク海高気圧からの湿った東寄りの風の影響で東北太平洋側を中心に曇りや雨の日が多く、北部の太平洋沿岸部では低温になった。16日は本州の南岸沿いを低気圧が東進し、東北太平洋側の南部では大雨となり、福島県の浜通りでは日雨量が150mmを超える所もあった。なお、東北北部では15日ごろ梅雨入りしたと見られる。(平年は6月12日ごろ)

平均気温は東北北部で低く、東北南部で平年並。降水量は東北北部で少なく、東北南部で多い。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側でかなり少ない。

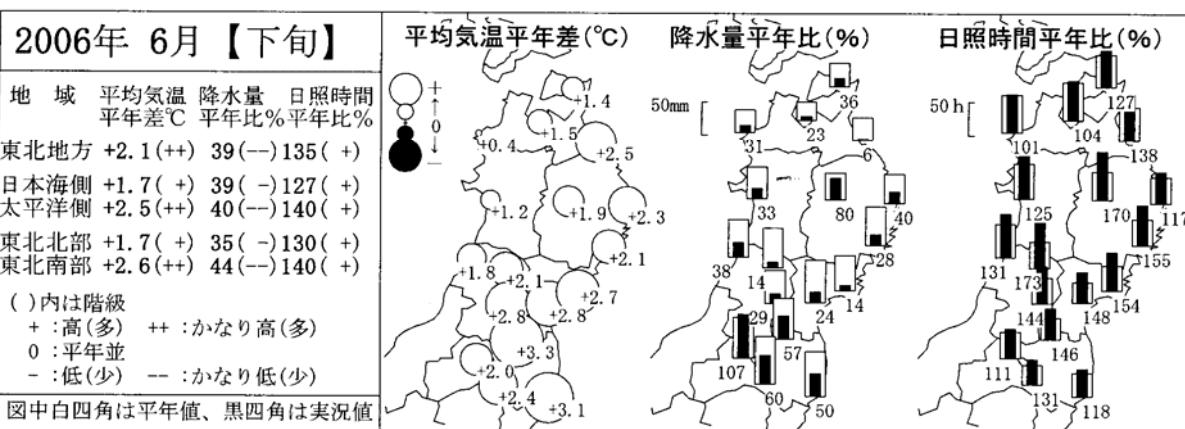
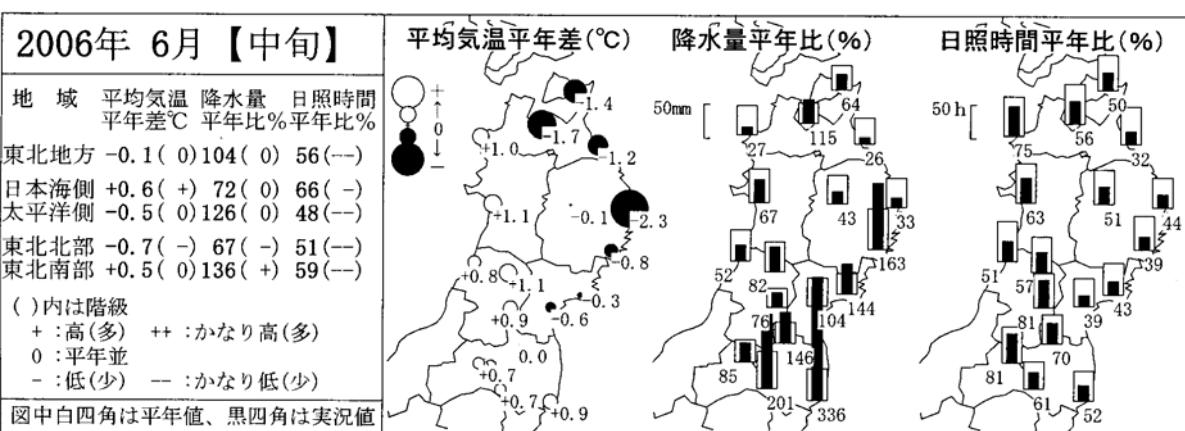
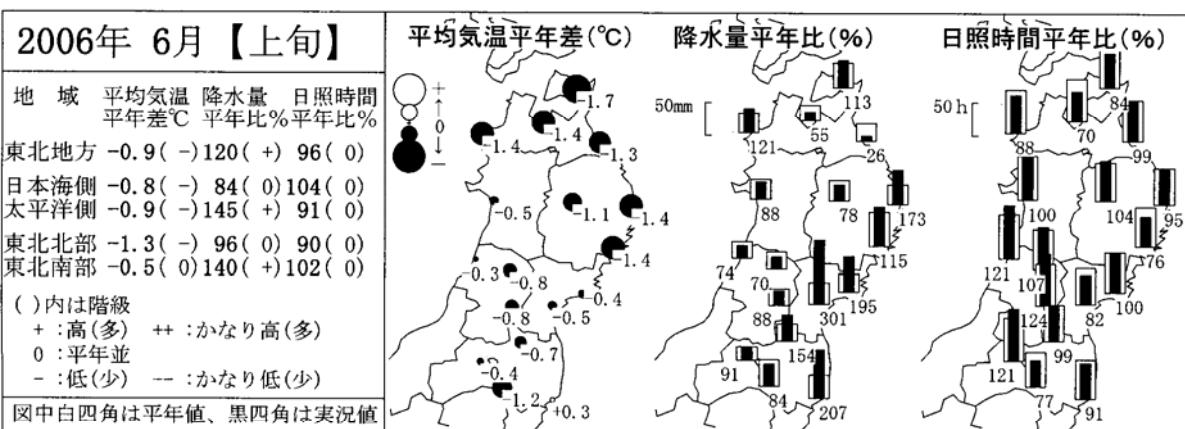
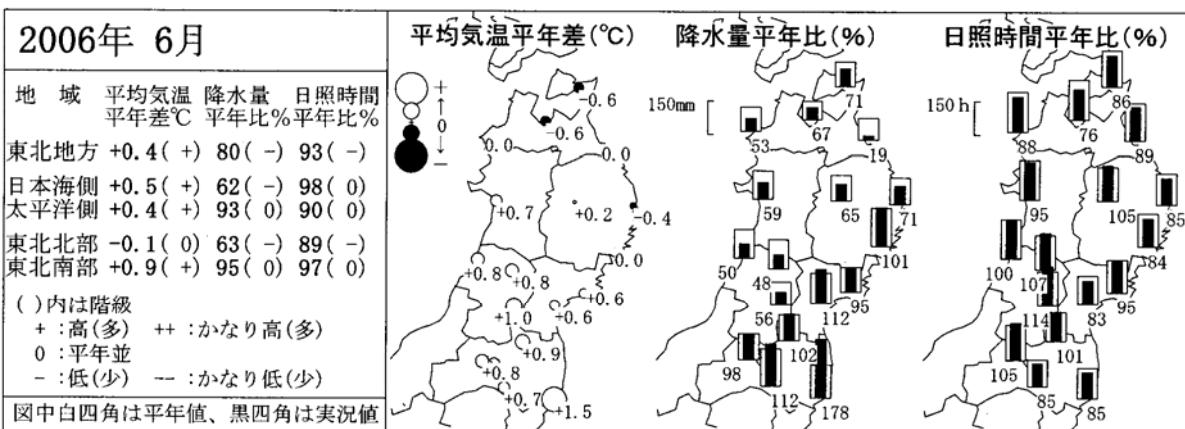
下旬：この期間は前線が南下して本州の南岸に停滞し、東北地方は移動性高気圧と気圧の谷が周期的に通過した。東北地方は晴れの日が多かったが、23日と27日以降は、上層寒気の影響で大気が不安定となって、所々で雷雨となった。

平均気温は東北北部で高く、東北南部でかなり高い。降水量は東北北部で少なく、東北南部でかなり少ない。日照時間は東北地方が多い。

注) 気候統計値は、東北地方にある17地点の気象台、測候所、特別地域気象観測所の観測値より求めています。
細分地域については4ページ目脚注1を参照して下さい。

平年値の統計期間は1971-2000年です。階級区分については、4ページ目脚注2を参照して下さい。

(3) 2006年6月の期間・旬平均(合計)値の平年差(比)



(4) 2006年6月の月気候表

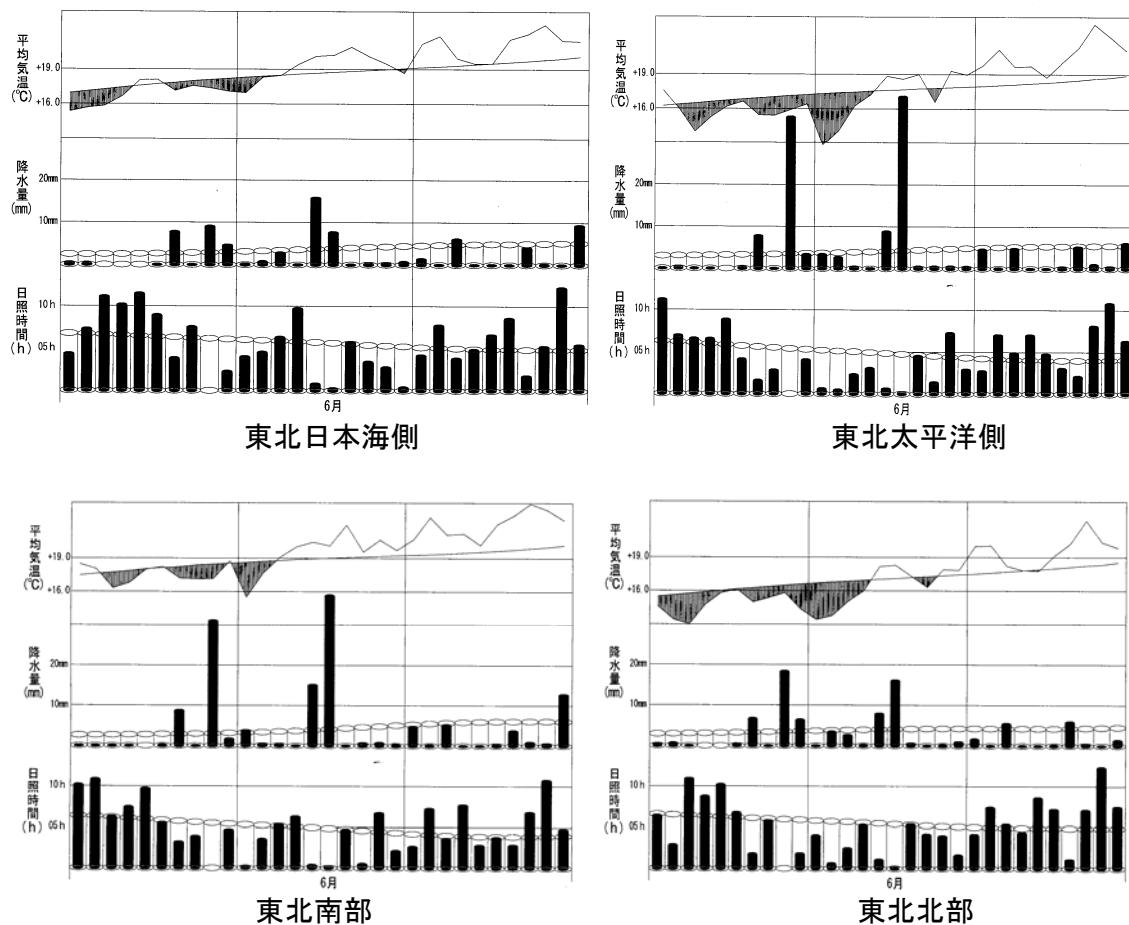
地点名	平均気温(平年差)		降水量(平年比)	階級	日照時間(平年比)		階級	
	(°C)	(°C)			(mm)	(%)		
青 森	16.4	(-0.6)	○		55.0	(67)	○	138.1 (76) —*
深 浦	17.2	(0.0)	○		58.0	(53)	—	158.1 (88) —
む つ	15.0	(-0.6)	○		77.5	(71)	○	139.7 (86) ○
八 戸	16.1	(0.0)	○		19.0	(19)	—*	149.4 (89) —
秋 田	19.5	(+0.7)	+		75.5	(59)	—	169.5 (95) ○
盛 岡	18.4	(+0.2)	○		75.0	(65)	—	158.8 (105) ○
大 船 渡	17.3	(0.0)	○		173.5	(101)	○	124.9 (84) —
宮 古	15.6	(-0.4)	○		83.0	(71)	—	119.3 (85) —
仙 台	18.9	(+0.6)	+		154.5	(112)	+	106.6 (83) —
石 卷	18.3	(+0.6)	+		106.5	(95)	○	138.2 (95) ○
山 形	20.5	(+1.0)	+		57.5	(56)	—	175.9 (114) +
新 庄	19.5	(+0.8)	+		63.5	(48)	—	163.4 (107) ○
酒 田	20.1	(+0.8)	+		64.0	(50)	—	175.4 (100) ○
福 島	20.8	(+0.9)	+		120.0	(102)	○	131.5 (101) ○
若 松	20.6	(+0.8)	+		113.0	(98)	○	165.9 (105) ○
白 河	19.1	(+0.7)	+		188.5	(112)	+	103.1 (85) ○
小 名 浜	19.8	(+1.5)	+		266.0	(178)	+*	118.3 (85) —

・「階級」の記号の意味は以下のとおり

+ : 高い (多い) ○ : 平年並 — : 低い (少ない) * は「かなり」を表す

・値の横に) や] がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ（日別値）に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値（準完全値）は通常のものと同様に扱うことができるが]付きの値（資料不足値）については、値の下に記載した統計日数（統計に用いた、品質が十分な日別値の数）を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

(5) 2006年6月の日別経過図



気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均（気温：実線と点線、降水量・日照時間：黒い円柱と白抜き円柱）

注1) 細分地域

東北日本海側：青森県津軽、秋田県、山形県、福島県会津

東北太平洋側：青森県下北・三八上北、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り

東北北部：青森県、秋田県、岩手県

東北南部：宮城県、山形県、福島県

注2) 階級は「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3階級とし、それぞれの階級幅は、1971～2000年の30年間において出現した値を等確率(33.3%)に区分しています。また、低い(少ない)方または高い(多い)方から出現率10%の範囲を、それぞれ「かなり低い(少ない)」、「かなり高い(多い)」と表し、補足的に用います。本資料の本文にある階級の表現も、「かなり低い(少ない)」、「かなり高い(多い)」に該当する場合はそのように記述し、細分地域により階級表現が異なる場合は地域を細分して記述しています。

(6) 2006年6月の極値・順位の更新

(月平均気温、月降水量、月間日照時間の大きい方からの3位まで。)

月降水量少ない方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最小 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
1	八戸	19.0	19	31.5 (1985)	1937	99.2

(注) 平年値とは1971～2000年の30年間の値を平均したものである。

(7) 6月中旬の寡照の要因

6月中旬の大気の流れを見ると、太平洋高気圧が西に張り出し、前線が日本の南岸付近に停滞することが多かった。また、中旬前半にオホーツク海高気圧が出現した。このため、東北太平洋側は中旬を中心に前線やオホーツク海高気圧からの冷たく湿った東寄りの風の影響により、寡照となつた。

